

第1回新潟県食肉センター再編検討委員会 議事概要

1 開催概要

- (1) 日 時：令和7年3月27日（木） 午後2時～3時45分
- (2) 会 場：新潟県自治会館 本館 201 会議室
- (3) 出席者：委員20名中、18名出席（うち2名代理）

2 議事概要

(1) 事務局説明

議題1「新潟県食肉センター再編検討委員会について」、議題2「食肉センターを取り巻く現状」、議題3「本県食肉センターの現状及び今後の運営」、議題4「再編後の食肉センターの基本構想」について、事務局から説明を行った。

(2) 主な委員意見

事務局説明後の意見交換における主な委員意見は以下のとおり。

ア 県の役割

- 県にリーダーシップをとって、できるだけ早く一本化し、具体的な方向性や選択肢を示して議論を進めていただきたい。
- 設置場所や運営主体の調整はデリケートな問題なので、県が主導して案をまとめ、現実的な提案をしてもらいたい。

イ 市町村等の参画

- 県主体で各市町村や他の民間事業者にも参画を呼びかけ、前向きに一本化に向けた議論を進めていただきたい。
- 生産者・事業者・消費者・市町村など、恩恵を受けている多くの関係者を巻き込み、技術や負担も分け合いながら、一体となって進める形にしてもらいたい。
- 第2回以降は、市町村にも出席してもらい、設置や運営のあり方を共有・検討できる場にしていただきたい。

ウ スピード感

- 老朽化が深刻で、利用者にも影響が出ている現状を踏まえ、一刻も早く新しい施設を整備していただきたい。
- 設置場所や運営主体の調整は難しいが、良い案が出れば一気に前進できるので、できる限り早く進めてもらいたい。

エ 機能等

- 輸出対応が可能な衛生的で頭数増にも対応できる施設を整備し、これからのことや国の補助も見据えた食肉センターを整備していただきたい。

- HACCP に対応した衛生レベルの高い加工施設でなければ大手との取引が難しくなるため、センター内には HACCP 対応の加工施設が必要である。
- と畜解体だけでなく内臓販売、ミートパッカー処理にも対応した施設ならば、利用させてもらいたい。
- 省力化、衛生管理がしっかりなされた施設を整備することが重要である。
- 施設の統合に伴う利便性の低下への対策や、と畜の方法による競争力の確保、生産者が持続的に経営できる環境作りも考えていかなければならない。

オ 利用料

- 生産者が経営を安定化できる利用料について慎重に検討していただきたい。
- 他県への流出や生産者の廃業を防ぐ必要があり、運賃補助など、他県の事例も踏まえて検討すべきである。

(3) 結論

食肉センターを県内に 1 か所新設することとし、次回の検討委員会では設置・運営主体、施設所有者について議論する。

以上